

I. 尾崎三雄関連新聞記事 (1930年代)



根尾の界世

アフガニスタンへ
伸ばす技術の手

果樹蔬菜の
栽培指導に
出発する尾崎技師夫妻

盛り上げる親日感から昭和三年日本と修交條約を締結、更に昨年からは公使を交換し

てあるアジアの尾根アフガニスタン王國から最近東京駐在同國公使館を通じて先進國日本から土木事業の顧問一名及び農業専門の顧問一名を招聘したいと交渉して来たので政府でも同國の日本への信頼に應へようと欣然快諾した、誠意の結果

土木 顧問に内務省下關土木出張所技師池本泰兒氏を去る七月二日先發させ更に派遣第二陣の農業顧問として農林省農務局農産課の少壯技師尾崎三雄氏(左)を技師に昇格させたらへ來

る十月初旬神戸發の便船で出發させることになつたアフガニスタンといへば同國軍隊の柔道教師として講道館六段の高垣甚之助氏がたつた一人の日本人として官吏を派遣することなどはもちろん今回がはじめてのことであり、それだけに國際的の壯舉としてその成果を期待されてある同王國は人も知る如く、海拔九〇〇米といふ高原地帯、外國の勢力を入れぬためにといふ政府の方針で鐵道は一本もないといふおよそ邊陲の山國である、かうした山國だけに石油その他の礦産物は無量といはれ、南から英國、北から露國が

虎視 眈々として狙つてをりいは英露兩勢力の緩衝地帯だが、伸びる誘惑の魔手を尻目に

に東亞民族の黎明に輝きとして日本こそ眞の友邦と手を差し伸べて來たものである

そこで何處も同じ食糧問題の解決が急務とあつて水田のない同國の主食物である葡萄、梨、林檎、柑橘等の果樹、蔬菜類の栽培改良および病虫害防除の指導役として我が國の専門技師の招聘となつたものである、契約期間も三ヶ年の長期、報酬も月給六五パウンド、邦貨にして千百圓餘といふ高給

選ばれた尾崎技師は山口縣佐波郡小野村出身、縣立山口農學校を経て駒場農大實科に入つた生れながらの主の人で、大正十二年卒業後ずっと農林省につとめ若手ながら眞面目なエキスパートとして好評噴々の人、たゞの